

## 総合評価方式の試行について

### 1 総合評価方式の試行について

総合評価方式については、平成 18年度から農林水産部及び土木部の所管工事の中から、標準型及び簡易型について一部抽出試行を行っている。

これまでの試行結果を踏まえ、平成 20年度の試行に際しては、以下の内容についての改正を行いたい。

### 2 改正内容について

#### (1) 評価値算出方式の改正

評価値の算出に当たっては、農林水産部は入札価格評価型、土木部は基準価格設定型を採用しているが、平成 19年度の試行結果によると、土木部案件の 1/3程度が基準価格を下回り基準価格設定型の適用になっていることから、引き続き実施する必要があるため、平成 20年度は、すべての工事について基準価格設定型を適用することとしたい。

#### (2) 加算点の改正

平成 19年度の試行結果によると、価格逆転件数（価格が 1位で落札者にならなかった件数）は、簡易型で 20%程度、標準型で 50%程度となっており、総合評価方式の趣旨や最近の低入札の状況からすれば高い割合でないと思われること、また、国や他自治体での加算点の状況を考慮すると、現在の加算点を増やし試行を実施したい。

#### 加算点の改正

	現 行	改 正
簡易型	10点	30点
標準型	20点又は30点（技術提案 1項目10点で設定）	50点又は70点（技術提案 1項目 20点で設定）

標準型の加算点は、簡易型の加算点を含む。

### (3) 評価項目の改正

評価項目については、地元の安全安心を担う企業を適切に評価する必要があることから、企業の地域社会に対する貢献度の評価内容について、新たな評価項目の追加や配点の見直しを行いたい。

改正内容

評価項目	現 行	改 正
県内業者の活用	0.5	1.0
本店所在地	0.5	1.5
同一市町村内の施工実績	0.5	1.0
ボランティア活動	4.0	2.0
除雪・維持補修業務委託(単契)の受注実績(新規項目)	-	1.0
災害時の出勤実績(新規項目)	-	1.0

企業の技術力を評価する項目における「技術者確保数」について、建設関連技能士の活用を加点対象に追加する。(0.5点)

配置予定技術者の技術力を評価する項目における「資格の保有年数」について、条件が厳しく実態に合っていないとの指摘があることから、資格を保有して20年以上の基準について10年以上とする。

### (4) 特別簡易型の導入

これまでの総合評価方式については、簡易型、標準型を中心とし試行を実施してきたが、技術的な工夫の余地が小さい小規模工事について対象とし、入札参加者及び発注者双方の事務負担を軽減しつつ、適切に技術力を評価する特別簡易型を導入することとしたい。なお、評価方法については、簡易型等と同様の除算方式とし、加算点は以下の内容で最大点10点で設定したい。

特別簡易型における評価項目

評価事項及び評価項目		配 点
企業の技術力を評価する項目		5.0
	施工能力	2.0
	工事成績	1.5
	優良工事表彰	1.5
企業の地域社会に対する貢献度を評価する項目		5.0
	本店所在地	1.0
	同一市町村内の実績	1.0
	ボランティア活動	1.0
	除雪・維持補修業務委託(単契)の受注実績	1.0
	災害時の出勤実績	1.0
合 計		10.0

### 3 平成20年度の試行について

平成20年度の試行に当たっては、上記内容の改正を行うとともに、農林水産部及び土木部の所管工事に加えて、他部局における営繕工事等の案件についても試行対象としたい。

なお、試行対象件数については、関係部局で調整し決定することとしたい。

標準型・・・2億円以上の工事（30件程度）

簡易型・・・3千万円～2億円までの工事の中から150件程度を抽出

特別簡易型・・・1千万円～3千万円までの工事の中から120件程度を抽出

平成20年度 総合評価方式発注想定件数

	農林水産部	土木部	他部局	計
標準型	10	20	営繕工事等	30
簡易型	50	100	営繕工事等	150
特別簡易型	40	80	-	120
計	100	200	-	300

総合評価方式における試行内容の改正について(案)

年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		備考			
項目	評価方式	除算方式		除算方式		除算方式					
算定式	評価値 = (標準点 + 加算点) / 入札価格	評価値 = (標準点 + 加算点) / 評価値算出価格 農林 評価値算出価格 = 入札価格評価型 土木 評価値算出価格 = 基準価格設定型		評価値 = (標準点 + 加算点) / 評価値算出価格 評価値算出価格 = 基準価格設定型							
評価対象工事	農林水産部及び土木部の所管工事	農林水産部及び土木部の所管工事		農林水産部及び土木部の所管工事		農林水産部及び土木部の所管工事 (他部局営繕工事等含む)					
対象案件	標準型	-		17件		2億円以上の工事 (30件程度)					
	簡易型	8件		65件		3千万円 ~ 2億円の工事で150件程度抽出試行					
	特別簡易型	-		-		1千万円 ~ 3千万円の工事で120件程度抽出試行					
	合計	8件		82件		300件程度					
加算点	標準型	20点 ~ 30点		20点 ~ 30点		50点 ~ 70点 (1項目20点で設定)					
	簡易型	10点		10点		30点					
	特別簡易型	-		-		10点					
評価項目及び配数	型式等	標準型		簡易型		標準型		簡易型		特別簡易型	
		項目	配点	項目	配点	項目	配点	項目	配点	項目	配点
(企業の技術力)	施工能力	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0			
	工事成績	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5			
	優良工事	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5			
	品質管理	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-			
	技術者確保数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	技能士を活用する場合は0.5点		
	小計	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0			
(配置予定技術者の技術力)	施工能力	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-			
	工事成績	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-			
	資格保有	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	20年 10年に改正		
	優良工事	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-			
	小計	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-			
(企業の地域社会に対する貢献度)	障がい者雇用	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-			
	安全管理	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-			
	環境配慮	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-			
	県内業者活用	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0			
	本店所在地	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.5			
	同一市町村内実績	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0			
	ボランティア	0.5	0.5	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0			
	子育て支援	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
	仕事と生活の調和	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
	新分野	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
	除雪 維持補修業務	-	-	-	-	-	-	-	1.0	新設項目 (3年間の実績)	
	災害出動実績	-	-	-	-	-	-	-	1.0	新設項目 (3年間の実績)	
	小計	5.0	5.0	9.0	9.0	9.0	9.0	11.0	5.0		
(施工計画適切性)	施工計画	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0			
	小計	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0			
加算点	合計	24.0	24.0	28.0	28.0	28.0	28.0	30.0	合計点を加算点へ換算		
(技術提案)	技術提案	10.0	-	-	10.0	-	-	20.0	1項目20点点で設定		
	技術提案	10.0	-	-	10.0	-	-	20.0	最大2項目、最高点70点		
	小計	20.0	-	-	20.0	-	-	40.0			
加算点 (合計)		30.0	10.0	30.0	10.0	30.0	10.0	70.0	30.0 10.0		